

平成 24 年度事業報告書

[1] 政策研究

昨年度に引き続き研修セミナー参加者を中心に研究会を催した<敬称略>。

| 月 / 日 | 講師名 | 役 職 | テ ー マ |
|-----------|---------|-----------------------|------------------|
| 24. 9. 27 | 孫 崎 享 | 元防衛大学校 教授 元駐イラン大使 | 国際情勢の変化と日本の安全保障 |
| 10. 23 | 知 原 信 良 | 杏林大学 教授 元国税不服審判所次長 | 新しい社会に向けての税制の在り方 |
| 25. 2. 7 | 木 元 教 子 | ジャーナリスト | 原発報道について |

施設見学研修を下記の通り開催した。

| | | |
|---|---------|---|
| ① | 期 日 | 平成 24 年 6 月 23 日 (土) |
| | 視察、訪問先等 | 陸上自衛隊富士学校機甲科部、普通科部 |
| ② | 期 日 | 平成 24 年 8 月 24 日 (金) ~25 日 (土) |
| | 視察、訪問先等 | 陸上自衛隊富士総合火力演習 |
| ③ | 期 日 | 平成 24 年 11 月 8 日 (木) ~9 日 (金) |
| | 視察、訪問先等 | 新日鐵住金・大分製鉄所 JX 日鉱日石金属・佐賀関製錬所 西日本高速道路・別府湾 SA |
| ④ | 期 日 | 平成 25 年 1 月 17 日 (金) |
| | 視察、訪問先等 | 常石造船本社工場 エフピコ西日本リサイクル工場 |
| ⑤ | 期 日 | 平成 25 年 2 月 8 日 (金) ~9 日 (土) |
| | 視察、訪問先等 | 東京電力柏崎刈羽原子力発電所 |
| ⑥ | 期 日 | 平成 25 年 2 月 18 日 (月) |
| | 視察、訪問先等 | ANA機体メンテナンスセンター、訓練センター |
| ⑦ | 期 日 | 平成 25 年 3 月 15 日 (金) ~16 日 (土) |
| | 視察、訪問先等 | 電源開発石川石炭火力発電所・やんばる海水揚水発電所 航空自衛隊南西航空混成団 |

[2] 研修セミナー（フォーラム' 80）

官庁、政府系機関、民間企業を中心に各団体から派遣される中堅幹部職員を対象に、内外の学者、専門家等を講師に招聘し、我が国経済社会における次代の後継者を育成することを目的とした研修セミナー（フォーラム' 80）を実施した。

(1) 開講状況（平成 23 年度からの継続を含む）

第 67 期 : 開講日 平成 23 年 12 月 7 日
終講日 平成 24 年 10 月 16 日

※ 修了後、第 67 期生会を結成し、定例研究会その他自主活動を行なっている。

第 68 期 : 開講日 平成 24 年 5 月 15 日
終講日 平成 25 年 3 月 5 日

※ 修了後、第 68 期生会を結成し、定例研究会その他自主活動を行なっている。

第 69 期 : 開講日 平成 24 年 12 月 6 日

※ 現在受講中

※

(2) 講師・テーマ一覧 (本年度実施分のみ掲載、役職は当時、敬称略)

<第67期>

| 月/日 | 講師名 | 役職 | テーマ |
|-----------|---------|------------------------|--------------------------------|
| 24. 4. 12 | 吉 武 博 通 | 筑波大学 教授 | 大学改革の現状と課題 |
| 4. 19 | 森 亮 二 | 流山市議会 議員 | 政権交代と地方の在り方 |
| 4. 26 | 藤 田 エ ミ | ANA ラーニング (株) 講師 | ビジネスマナー&パーティーマナー (実践形式で) |
| 5. 17 | 土 野 繁 樹 | 国際ジャーナリスト | 欧州からみた日本のマスコミ、欧州 メディアから見た福島 |
| 5. 24 | 小 林 宏 之 | 元日本航空 機長 | 安全・安心確保のリスクマネジメント |
| 5. 31 | 佐々木 秀 幸 | 日本陸連 名誉副会長 | 健康とスポーツ |
| 6. 5 | 北 山 禎 介 | 三井住友銀行 取締役会長 | グローバル経済の現状と金融業の課題 |
| 6. 14 | 森 一 弘 | 真生会館 理事長 | 現代世界とカトリック教会 |
| 6. 21 | 渥 美 堅 持 | 東京国際大学 名誉教授 | イスラーム文化-歴史、宗教、政治、 社会- |
| 6. 28 | 篠 田 邦 彦 | 経済産業省 通商政策局アジア大洋州課長 | 東アジアの経済統合に向けて |
| 7. 5 | 今 西 光 男 | ジャーナリスト | メディアの危機と新しい試み |
| 7. 12 | 加 地 伸 行 | 大阪大学 名誉教授 | 儒教と現代 |
| 7. 19 | 後 藤 正 彦 | (株) 博報堂 CC 局長 | 企業のリスクコミュニケーション |
| 10. 4 | 渡 邊 允 | 宮内庁 元侍従長 | 日本と皇室 |
| 10. 13 | 終 講 式 | | |
| 10. 16 | 南 川 夏 雄 | 東日本電信電話(株) 取締役 | 大災害発生時の通信事業者の妹金と 今後の対策 |

<第68期>

| 月/日 | 講師名 | 役職 | テーマ |
|-----------|---------|----------------------|-----------------------------|
| 24. 5. 15 | 開 講 式 | | |
| 5. 22 | 岩 田 清 文 | 防衛省 統合幕僚会議副長 (陸将) | 国際情勢と日本の防衛 |
| 5. 29 | 大 来 洋 一 | 政策研究大学院大学 客員教授 | 税と社会保障の一体改革を考える |
| 6. 5 | 北 山 禎 介 | (株) 三井住友銀行 取締役会長 | グローバル化と日本の課題 |
| 6. 12 | 呉 忠 根 | 群馬県立女子大学 非常勤講師 | 最近の朝鮮半島情勢 |
| 6. 21 | 渥 美 堅 持 | 東京国際大学 名誉教授 | イスラーム文化 - 歴史、宗教、政治、 社会 - |

| 月／日 | 講師名 | 役職 | テーマ |
|---------|-------|-----------------------------------|-----------------------------|
| 7. 3 | 中島英也 | (株)CSKサービス 執行役員 | D-SATリダクション（不満の消滅）について |
| 7.12 | 加地伸行 | 大阪大学 名誉教授 | 儒教と現代 |
| 7.17 | 斉藤善久 | 獨協大学 講師 | 発想力とコミュニケーション力 |
| 9.25 | 伊藤数子 | (株)パステルラボ 代表取締役社長 | ユニバーサルコミュニケーション実現に向けて |
| 10. 2 | 吉武博通 | 筑波大学 教授 | 大学改革の展望 |
| 10. 9 | 戸崎肇 | 早稲田大学 アジア研究開発機構 教授 | 航空界の現状と課題 |
| 10.16 | 南川夏雄 | 東日本電信電話(株) 取締役 前宮城支店長/東北復興推進室長 | 大災害発生時の通信事業者の責任と今後の対策 |
| 11. 6 | 森亮二 | 流山市議会 議員 | 政権交代と地方の在り方 |
| 11.13 | 福田真也 | 証券取引等監視委員会 委員 | SESCの最近の動き |
| 11.20 | 野田健太郎 | 日本経済研究所 ソリューション本部環境・防災部部長 | 事業継続マネジメントによる企業価値向上に向けて |
| 11.27 | 藤田エミ | ANAラーニング (株) 講師 | ビジネスマナー&パーティーマナー (実践形式で) |
| 12. 4 | 小林宏之 | 元 日本航空 (株) 機長 | 安全安心確保のリスクマネジメント |
| 12.11 | 寫信彦 | ジャーナリスト | これからの10年と日本の覚悟 |
| 12.18 | 佐々木秀幸 | 日本陸上競技連盟名誉副会長 東京マラソン事務総長 | 健康とスポーツ |
| 25.1.15 | 宮本雄二 | 元 駐中国大使 | 2013年、中国の展望と日中関係 |
| 1.22 | 今井和男 | 弁護士 | 企業のコンプライアンス |
| 1.29 | 野口秀行 | ノースアジア大学 特任教授 | 激動の北東アジアを俯瞰する |
| 2.12 | 橋本宗明 | 前日経バイオテック 編集長 | 最近のバイオ・製薬分野の現状と課題 |
| 2.19 | 水谷川優子 | チェリスト | 旅がらすチェリスト物語 |
| 2.26 | 齋藤健 | 衆議院議員 環境大臣政務官 | 明日の日本を創る |
| 3. 5 | 終 講 式 | | |

<第69期>

| 月／日 | 講師名 | 役職 | テーマ |
|---------|-------|-------------------|-----------|
| 24.12.6 | 開 講 式 | | |
| 12.13 | 呉忠根 | 群馬県立女子大学 非常勤講師 | 最近の朝鮮半島情勢 |

| 月/日 | 講 師 名 | 役 職 | テ ー マ |
|-----------|-----------|---------------------|---------------------------|
| 12. 20 | 大 来 洋 一 | 政策研究大学院大学 客員教授 | 新政権の目指すべき経済政策 |
| 13. 1. 15 | 宮 本 雄 二 | 元駐中国大使 | 2013 年、中国の展望と日中関係 |
| 25. 1. 24 | 番 匠 幸 一 郎 | 防衛省 陸上幕僚監部副長（陸将） | 国際情勢の変化と日本の防衛 |
| 2. 14 | 館 逸 志 | 内 閣 府 大臣官房参事官 | 今後の公共サービス改革の展望 |
| 2. 19 | 水谷川 優 子 | チェリスト | 旅がらすチェリスト物語 |
| 2. 28 | 斉 藤 善 久 | 獨協大学 講 師 | 発想力とコミュニケーション力 |
| 3. 7 | 後 藤 正 彦 | 元 (株) 博報堂 CC 局長 | 企業のリスクコミュニケーション |
| 3. 14 | 森 信 茂 樹 | 中央大学大学院 教 授 | 今後の税制の課題 |
| 3. 21 | 南 川 夏 雄 | 東日本電信電話 (株) 取締役 | 大災害発生時の通信事業者の責任と 今後の対策 |

(3) 見学会・合宿・その他活動

| | | |
|---|---------|-------------------------|
| ① | 期 日 | 平成 24 年 4 月 27 日 (金) |
| | 視察、訪問先等 | 大正製薬 大宮工場 |
| ② | 期 日 | 平成 24 年 7 月 26 日 (木) |
| | 視察、訪問先等 | NTT 武蔵野研究開発センター |
| ③ | 期 日 | 平成 24 年 8 月 4 日 (土) |
| | 視察、訪問先等 | JICA 地球ひろば |
| ④ | 期 日 | 平成 24 年 10 月 5 日 (金) |
| | 視察、訪問先等 | 清水建設建築現場 (大手町) 並びに新本社見学 |

[3] 国際交流

平成24年9月第33回海外研修団を組織し、総勢28名でベトナム、インドネシア、ミャンマー、タイを訪問した。概要は次の通り（所属肩書などは当時）。

| | | |
|----------------------|---|-----------------------|
| ① 期 間 | 平成24年9月10日～9月20日 | |
| ② 団 長 | 恩 田 宗 氏 | 一般社団法人総合研究フォーラム業務執行理事 |
| ② チームリーダー | 高 阪 洋 次 氏 | 株式会社 協和エクシオ |
| 同 上 | 松 本 知 己 氏 | 三井物産 株式会社 |
| 同 上 | 千 葉 隆 仁 氏 | 東日本高速道路 株式会社 |
| 同 上 | 門 間 寿 昌 氏 | JA 三井リース 株式会社 |
| ③ 報告書編集長 | 岡 沢 巖 氏 | 東京急行電鉄 株式会社 |
| 同 上 | 島 田 雅 夫 氏 | 全日本空輸 株式会社 |
| 編集委員 | 新 井 祐 一 氏 | 電源開発 株式会社 |
| 同 上 | 稲 富 雅 晴 氏 | 清水建設 株式会社 |
| 同 上 | 村 岡 敏 氏 | 東日本高速道路 株式会社 |
| 同 上 | 雨 宮 貴 之 氏 | 株式会社 三井住友銀行 |
| 同 上 | 渡 部 義 之 氏 | 中日本高速道路 株式会社 |
| ④ 主な訪問地 | ハノイ（ベトナム）、ジャカルタ（インドネシア）、ヤンゴン（ミャンマー）、バンコク（タイ） | |
| ⑤ 訪問地別主要行事（肩書きなどは当時） | | |
| ハ ノ イ | <ul style="list-style-type: none"> ● 恩田団長講話 ● 谷崎大使他講話 ● 佐藤ベトナム三井物産社長講話 ● チャン社会科学院ベトナム経済研究所長講話 ● TOTO ベトナム社見学 | |
| ジャカルタ | <ul style="list-style-type: none"> ● 下川公使（インドネシア）、浪岡一等書記官（アセアン）講話 ● 水野ジャカルタジャパクラブ理事長他講話 ● 寺岡清水建設ジャカルタ営業所長講話 ● ダダンソリヒンダルマプルサダ大学講師講話 ● カラワン工業団地見学 ● 住友建機インドネシア社見学 | |
| ヤ ン ゴ ン | <ul style="list-style-type: none"> ● 齋藤大使講話 ● 朝比奈ヤンゴン日本人商工会議所会頭他講話 ● トゥンアウンミャンマー商工会議所副会頭他講話 ● 高橋日建設シビル東南アジア総代表講話 | |
| バ ン コ ク | <ul style="list-style-type: none"> ● 小島大使講話 ● 橋本 JETRO バンコク事務所理事講話 ● クリサダー泰日工業大学学長他講話 ● 泰日工業大学学内見学 | |